

# インドネシアにWH生産会社

EDSマニファクチャリング・インドネシア株

## アストラグループと合併で設立

矢崎総業は、ワイヤーハーネスの世界戦略の一環として、インドネシアのアストラ・グループと折半出資で、輸出一〇〇割のワイヤーハーネス生産会社「EDSマニファクチャリング・インドネシア株」を設立することになった。

新会社「EDSマニファクチャリング・インドネシア株」は資本金三三億ルピア（二億七五〇〇万円）で、ジャカルタ市に本社工場をおき、敷地七万平方尺、建物一万平方尺の規模。社長は二年交替で両

社から選出するが、初代社長はアストラグループのS・ルックマン氏が就任の予定。新会社は本年7月に設立、同時に工場の建設に入り、一九九〇年2月から生産を開始する。当面の投資額は約八億

円で、従業員は約八三〇人。当面、月間一〇万工数でオーストラリアに輸出するが、数年後には同三〇万工数規模の能力に引き上げ、アメリカにも輸出する予定。

アストラ・グループは、インドネシアを代表する複合企業。同国最大のカーメーカーであり、トヨタ、ダイハツ工業などと提携している。中核は「アストラ・インタ

ーナショナル」社で、本社ジャカルタ市、ワイリアム・スリヤジャヤ会長、資本金四〇〇億ルピア（約三三億三〇〇〇万円）、従業員二万五〇〇〇人を擁し、一九八八年度の総売上げは二兆五〇〇〇億ルピア（約二〇八三億円）

同グループの子会社である「P・T・チプタ・ピランチ」社に対して、矢崎は一九八三年よりワイヤーハーネスの技術供与を継続して行っているが、同社は国内用ワイヤーハーネス、新会社の「EDSマニファクチャリング・インドネシア株」は輸出用ワイヤーハーネス、と役割り分担がなされている。

これで、矢崎のアジア・オセアニアにおけるワイヤーハーネスの直轄生産拠点は、台湾、タイ、フィリピン、オーストラリア、ニュージージーランドについて、インドネシアが六番目の国となる。